

# COVID-19によるNew Normal時代の 日本語教育関係者の グローバルな「つながり」を考える

※世界の日本語教育機関の代表からなる日本語教育グローバル・ネットワーク（GN）加盟団体では、各団体が主催・連携して企画・運営する「グローバルにつながるオンライン日本語教育シリーズ」を行います。本企画を皮切りに、今後は各団体が主催するイベントが順次行われる予定です。COVID-19による日本語教育国際研究大会（ICJLE2020）の延期の中、2022年の日本語教育国際研究大会までに、国際連携を途切れることなく推進するため、世界中の日本語教育に関わる実践者や研究者を「つなげていく」ことを目指します。

新型コロナウイルスの感染拡大により、国や地域を超えた移動が難しくなりました。そんな今だからこそ、世界中の日本語教育に関わる実践者や研究者が国・地域・個々の背景を超えて「つながる」ことの意義を考えてみませんか？ 世界中でオンラインでの多様な実践がなされている現在、ネットを介したグローバルな教師、学習者、研究者間の情報共有、協働的活動、連携のハードルは、むしろ下がっており、さまざまな可能性を秘めています。

本イベントでは、まずベトナムやブラジルなどで、国や地域を超えた連携を積極的に行っている金沢大学の松田真希子氏にご自身の経験からつながることの意義についてお話しいただきます。その後、小グループに分かれて、COVID-19の影響下、どのような教育実践や研究活動を展開してきたかを共有し、New Normal時代に可能な日本語教育のグローバルな「つながり」について考えます。

南米、アジアをオンラインでつなぎ、いろいろな教育研究実践に挑戦しています。そこでわかった可能性と限界をみなさんと共有できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 当日の流れ

1. 松田真希子氏の話提供
2. ブレイクアウトセッション  
グループで以下の点について話し合ってください。
  - ・ あなた自身、教師間でどのようなつながりを持っているか／持っていたか／持ちたいか
  - ・ あなたが欲しい日本語教育のグローバルな「つながり」とはどんなものか



松田 真希子氏

## ZOOMによるオンライン・ライブ開催

- 日時： 2020年11月21日（土）  
21:00～23:00（日本時間）
- 言語： 日本語
- 参加者数： 250名（応募多数の場合は参加者の地域を考慮しながら抽選します）
- 参加資格： 世界中の日本語教育関係者
- 参加申込： [こちらの申込フォーム](#)から
- 申込締切： 2020年10月31日（土）

2021年3月20日（土）は、オンライン交流会を企画しています。詳細は11月頃お知らせします。

